

2018年11月

友だいま建築中

(有) 友だいま工務店
0470-68-4848
y-l t@daiku.co.jp

千葉県高津市 友だいま (年内完成予定) 大きな木



千葉県柏市 友だいま邸 (2階建)
(8月完成予定) 外壁は白で仕上げ



千葉県松戸市 (3階建) 10年後の外壁リフォーム中



千葉県いすみ市 友だいま邸 (ストロークエイト付)



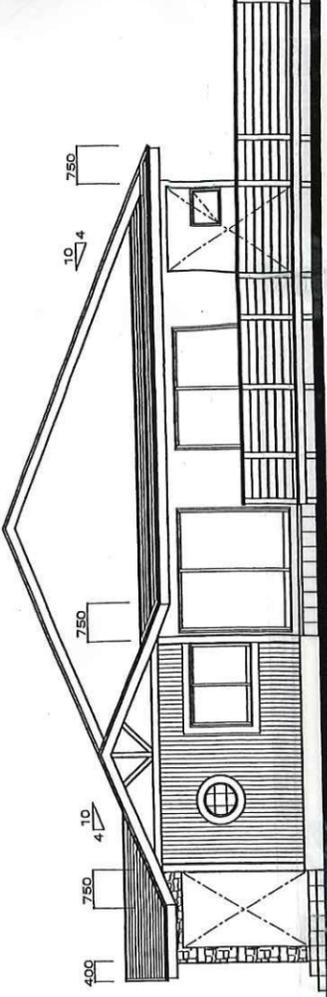
あんなにーがー
まじー

ご希望の家づくりにお手伝いし、必ず軽快に連絡ください。見学希望の方もお気軽に施工は、関東一円(千葉、東京、神奈川、茨城)ホームベジの施工実績も見てください。

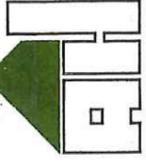
千葉県長生郡一宮町 友だいま邸



(地下室付) 平屋です。

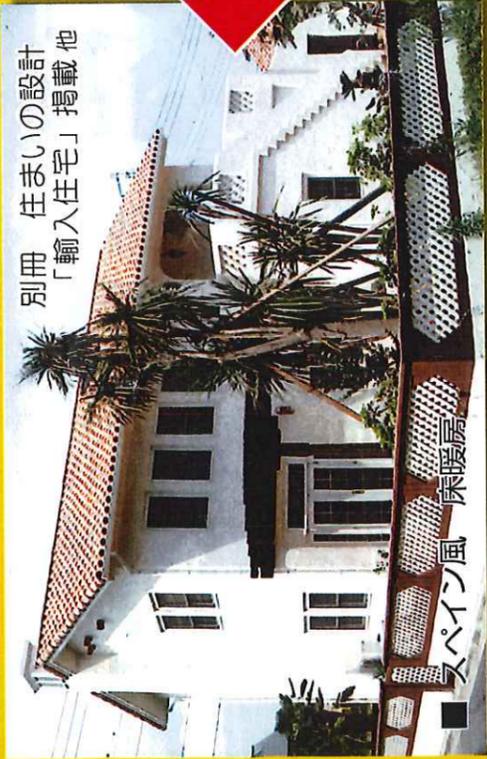


輸入住宅



(有)つるおが工務店

〒299-5102 千葉県夷隅郡御宿町久保2039
TEL. 0470-68-4848(代) FAX. 0470-68-5499
ホームページアドレス <http://www.daiku.co.jp>



別冊 住まいの設計
「輸入住宅」掲載他

■スペイン風 床暖房

当社施工住宅



別冊 すてきな奥さん
「いま建てたい家、住みたい家」
12月10日発売号掲載
「ニューハウス・輸入住宅」掲載他

■スペイン風 2×6住宅



2011年



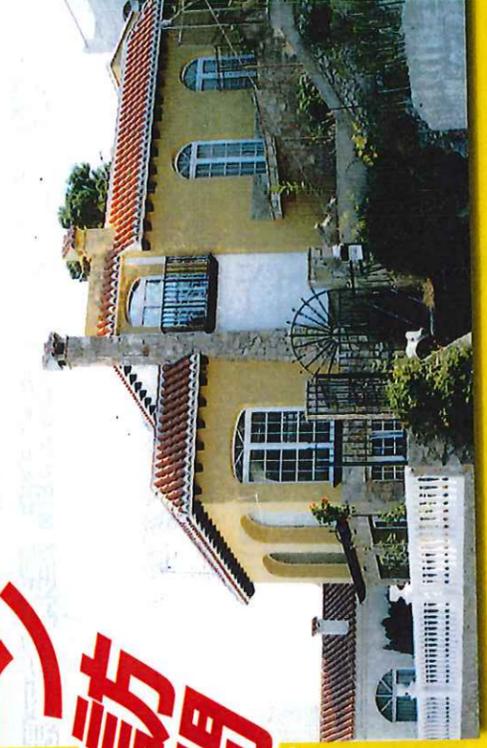
ウオントッド



桜井君



スペインへ訪問





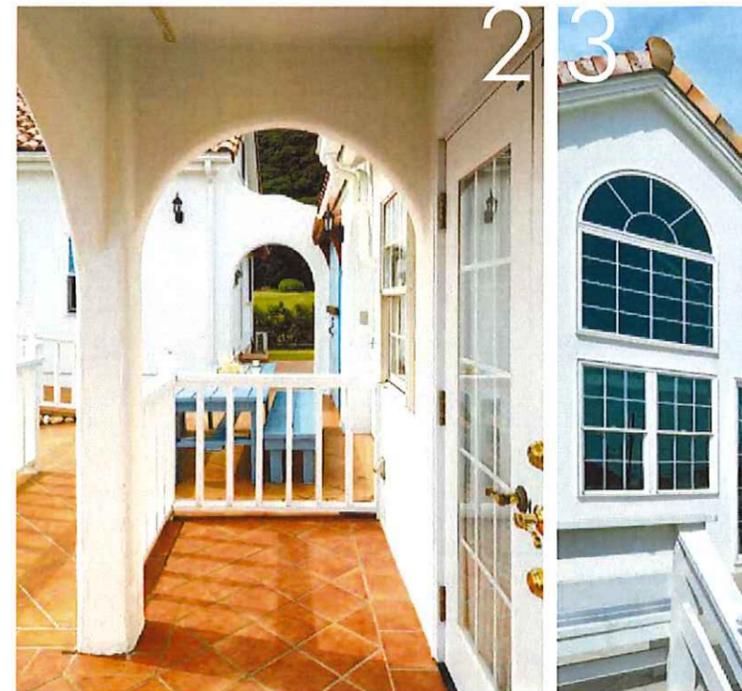
Spanish Style TSURUOKA KOMUTEN

千葉県J邸

都会の喧騒を離れ、週末をのんびりと過ごす。
心地よい陽だまりの中で読書に耽り、庭を愛犬が走り回る。
この場所、この住まいには、時計の針の進みをゆるやかにする魔法がかけられている。

Photo/Kazunari-HIROI(広井一成) Text/Shusui-AKIZUKI(秋月秋水)

- 1 青い空、やわらかな光、しみわたる緑。そんな自然に美しく溶け込むスパニッシュ・コロニアル様式の佇まい。バレンシア地方から取り寄せたスペイン瓦は、その優雅な姿、色合いの特長にプラスして、通気性が高く、室内を快適に保つ高い性能も有している。
- 2 ゲストルームを兼ねた離れにはアーチをあしらった、やさしい雰囲気。床はテラコッタ調のタイルを採用。本物のテラコッタは苔が生えやすいため、セカンドハウスという使い方を考えるなら、メンテナンスフリーな素材を使用したほうがベターという細やかな提案。
- 3 リビングの先には広々としたテラスが。そよ風を感じながらのプランチは、まさに贅沢な時間。大切な家族はもちろんのこと、大勢のゲストを招いても、このゆとりあるテラスなら心地よく受け止めてくれるだろう。

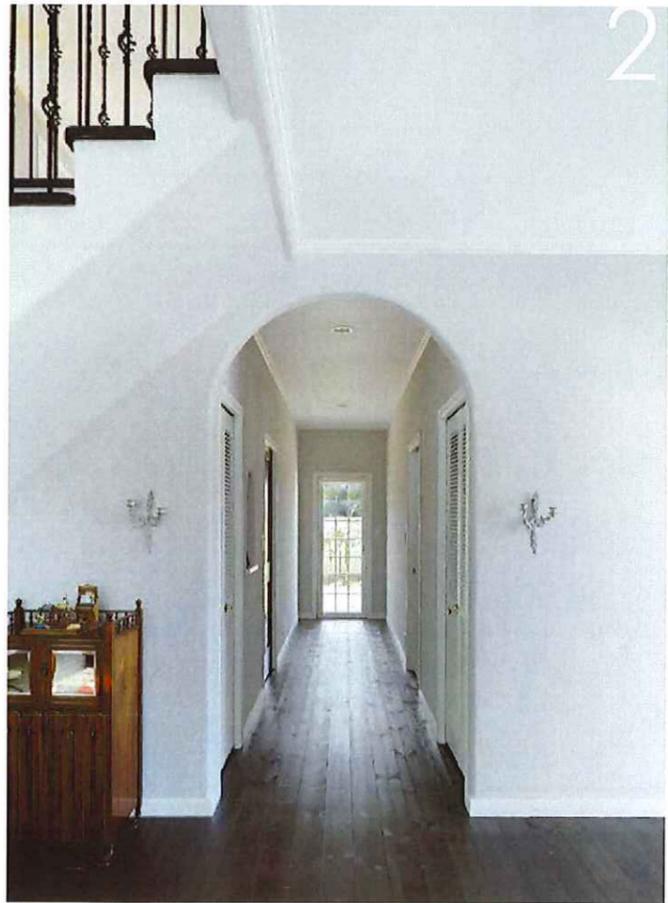




1



3



2

- 1 スペインスタイルが素敵なお家のキッチンに、カウンターをプラス。これはお菓子づくりなど、素材をこねる作業をしたという希望によるもの。天板はこだわりの御影石。オーナー自ら岐阜県に足を運び、チョイスした。光の当たり方によって、天板がキラキラと輝く。
- 2 まるでヨーロッパの教会を思わせるアーチをデザインした廊下。奥にはマスターベッドルームとバスルームが配されている。珪藻土にはコテむらがあり、それが微妙な陰影を生み出して、空間を落ち着いた雰囲気にしている。
- 3 少しグレーがかかった珪藻土の梁が美しいコントラストを描き、広さ30帖、高さ5mもの大空間すらいでいく。白い紙の上にすじして、このリビングをデザイン

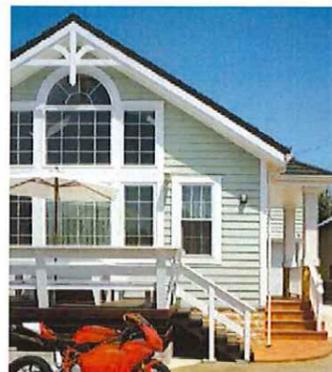
Variation

TSURUOKA KOMU

ぬくもり溢れる南欧スタイルの家



リゾート感溢れる南欧建築を忠実に再現。青空によく映える塗り壁とオレンジ瓦、滑らかなタイルが調和した佇まいは、輸入に精通している「店」ならではの、天井を生かした内装も、施主の理想を叶えた贅沢な空間を



雄大な自然を背景に ハワイアンハウス

モスグリーン屋根と白い壁面とのコントラストが美しい外観。テラスの床は茶色と塗り分けて、ハワイ風演出している。ハワイ好きの夫婦の好みを反映したものの単純な模倣ではなく、ライフスタイルに合わせた作りあげるのが「つるおか」のスタイル。

サンルームを中心にぬくもりに包まれる家

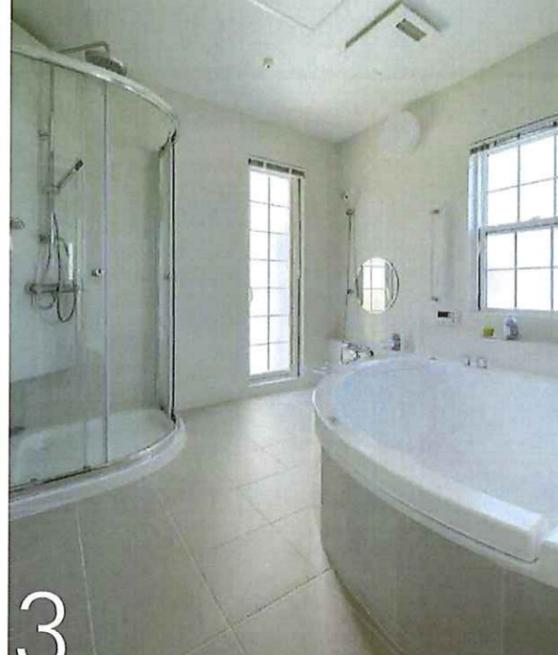


エルドラドストリートに重厚感と温かみ。この家の中心は、サンルーム。ゆるやかな形を利用して半オープンなサンルームも。サッシは、ハイレベルな住居に合わせた家族と愛猫に上もたらず輸入住宅

南欧スタイル輸入住宅の先駆け



1990年代末、まだ北米風が主流に、オーナーが建てた南欧風住宅。タイルや屋根瓦、スペインから直輸入の漆喰仕上り。これにはリフォームで輸入住宅の



テラスで朝食を。芝生の上でワインを

「この犬のために建てたようなものです」と笑うオーナーは、愛犬を伸び伸びと遊ばせるために、そして日々の忙しいビジネスで疲れた自らの心と身体を癒すために、この地にセカンドハウスを求めた。都会ではなかなか犬を自由に遊ばせる場所がない。ならばドッグランのような広い庭のある住まいを手に入れよう。それがきっかけだった。

5年前までパリに暮らしていた。吹き抜けのリビングに床から天井近くまである大きな窓、明るい陽射し。快適で楽しかったアパートマンでの生活が、セカンドハウスをつくる際に蘇ってきたオーナーは、そのイメージをこの新しい住まいにも求めることにした。「購入した土地に建っていた小屋が、スパニッシュ様式だったので。そのデザインを

受け継ぐ形で住まいをつくらうと。でも、住空間のイメージはあくまでもパリのアパートマン。広々としたリビングを希望しました。

夫婦2人と愛犬が過ごすセカンドハウスだから部屋数は必要ない。その代わりに、一つひとつの空間にゆとりを持たせ、オフをゆったりと贅沢に楽しむことができる住環境に仕上げるとともに、生活シーンをより豊かに彩るテラスや緩やかな起伏のある庭をプラスしたJ邸。朝のテラスでコーヒーを飲み、陽光に包まれながら読書に耽り、暮れなずむ空に浮かびだす月を愛で、夜の帳が下りた庭に座ってグラスを傾ける。得もいわれぬ心の開放感が、たまたなく心地よいとオーナーは語る。

「この住まいを手にしてから、毎年のように出かけていた海外のリゾート地に行かなくなりました。ここなら愛犬も一緒にいられますし、何よりみんな笑顔になれるのです」。

- まるで透明感あふれる海の中にいるような、マスターベッドルーム。まさにここは「眠るための部屋」といってもいい、静かな時間が流れる空間だ。身を横たえてふと見上げれば、美しい空が抜けている。
- ロフト部分は離れと同様に、子どもたちや孫、そしてゲストが来た時に使用できるスペースとして生まれたもの。窓のほか、トップライトも設けているのでとても明るく、風も通り抜けて快適だ。
- のんびりと身体を癒すため、バスルームは大きくしたかったという。バスタブの深さにこだわり、理想の形を追求したのだとか。夏はさっと汗が流せるようにとシャワーブースも採用。
- ホテルライクなパウダールーム。清潔感あふれるホワイトに、アクセントカラーのゴールドをあしらったエレガントな空間。ここから気持ちのいい一日が始まる。
- ボールを追いかけ、駆け回る愛犬。広々とした庭は、まさに彼のためのもの。こうしていると、ここは日本ではないような気がしてくる。
- 思い切り遊んだ後は、専用の足洗い場で。イタリアタイルを用い、カラフルに仕上げた。愛犬は車の移動が苦手、最初の頃はここに来るのをためらい気味だったそうだが、今では週末が待ち遠しい様子にオーナーもにっこり。

DATA Design & Construction

有限会社 つるおか工務店

TEL 0470-68-4848

営業時間/8:00~18:00 休業日/不定期
千葉県夷隅郡御宿町久保2039

つるおか工務店 検索

カタログ請求
P000

対応価格帯
50
万円~/坪

施工エリア/千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県(その他の施工エリアは相談)
保証・メンテナンス/まもりすまい保険・住宅瑕疵担保責任保険加入、10年保証、メンテナンス迅速に対応

千葉県J邸
●竣工/2014年2月 ●延床面積/148㎡

一宮サーファーズハウス



もし、あなたに広い土地があるのなら「平屋」はどうだろう。フラットハウスの良さは、気軽にサンダルを脱ぎ捨ててスタスタと入っていけること。ウエスタンスタイルのごとく、3、4段のステップをあがれば、深い軒のポーチがある。そこは波乗りの仲間を迎える空間であり、子どもたちが遊ぶ光景を眺めるスペースでもある。ビールを片手に、今日乗った波のことをちょっと思い出したり、これこそサーファーズハウス。

#03

千葉県一宮町T邸



①アフターサーフ、カバードポーチで大切な仲間と過ごす時間は珠玉の時 ②ツーバイフォーの輸入住宅を平屋で構築したサーファーズハウスT邸 ③リビングでは仲間とサーフビデオを見ながら談笑 ④ハワイのコンドミニアムにちなんで、ちょっと腰高に設定した造作のキッチン。タイルも奥様がこだわって選び抜いた



①堂々とした大きな三角屋根が象徴的なT邸。その大きさはそのままアメリカにあっても違和感がないほど ②外観から想定内の大空間。これで夏は涼しくて冬暖かい ③エントランスの広さも、サーフボードがかなりの枚数ストックできるくらい ④ウッドデッキの特注のベンチがうれしい。これなら大人数のパーティでもオーケー



1階のフロアのほとんどを占有したことで生まれた大空間のリビング&ダイニングキッチン。それはまるでアメリカの住宅のよう。リビングに続くウッドデッキもとても広い。

#01

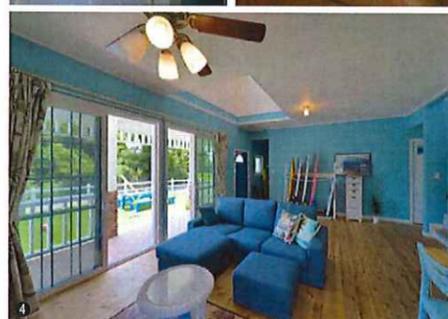
千葉県一宮町T邸



#04

千葉県一宮町N邸

ブルーのサイディング外壁、カバードポーチ、グリーン芝生。アメリカンスタイルのサーファーズハウスは、やっぱり房総千葉のゆったりとした敷地によく似合う。室内もオープンスタイルのリビングを中心に、吹き抜けをうまく利用した多目的プレールームも楽しく利用できそうだ。



①真っ青に晴れわたった夏空に、絵に描いたように浮かび上がるN邸。つかお工務店のサーファーズハウス最新作品のひとつ ②バスルームは室内はもちろん、玄関横のボードスペースから入ることが可能。寒い冬の海上がりにはありがたい、サーファー仕様です ③家の中のどこにいてもふたりが互いの存在を感じられるようにと、広くシンプルに設計された



#02

千葉県一宮町I邸



JR外房線総一宮駅と海のちょうど中間あたり住む今井さんご家族。周りは一宮川の水の音が聞こえるくらいの静かな環境。駅にも男性なら歩いて行ける距離だし、海にも近い。大型スーパーも近くにあるから生活に不自由がないそうだ。ゆったりとした敷地に建つアメリカンハウスは、一宮の町にとってもよく似合う

①エントランスはレンガ張りのポーチを採用した ②リビング階段を採用しているから、1、2階に一体感がある ③アーチ型のめ殺しの窓や小窓も本場のデザインを継承している